

## インフルエンザ予防接種を受けるにあたっての注意事項

予防接種に「インフォームド・コンセント（説明と同意）」がはっきりと求められるようになり、接種の実施に際して、接種希望者は予防接種の意味や副反応を十分に理解し、しっかりと予診されるように予防接種法により指導されております。

また、予防接種法によって**予防接種を受けられない不適合者(表1)**、**予防接種を受けるに際しての要注意者(表2)**や**接種後の注意(表3)**が指示されております。

当健康管理センターは予防接種法の趣旨に沿った注意事項、予診票を作成し、また、体調が良い時に接種を受けられるように、予防接種実施日を増やしました。

インフルエンザの流行を防ぐため、予防接種について皆様のご理解をいただき、予防接種を安全に実施したく、よろしくご協力の程お願いいたします。

1. 対象者・・・当組合の被保険者および被扶養者の接種希望者  
(中学生以下を除きます。)
2. 下記の表1から表3についてあらかじめお読みください。
3. 当日、医師により予防接種の可否について予診を行います。

### 表1. 予防接種を受けられない人（不適合者）

1. 明らかに発熱している人。  
(一般に37.5℃以上の発熱の場合です。予診時に検温します。)
2. 重い急性な病気にかかっている場合。  
(①急性の病気で医師に受診中②かぜ症状がある時③下痢、嘔吐がある時などを避ける。健康状態が良好な時に接種を受けましょう。)
3. ワクチンの成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人。  
(アナフィラキシーとは、医薬品などによって引き起こされる急性の過敏反応です。ワクチンの成分によってアナフィラキシーを呈したことがある人はインフルエンザ予防接種を避けましょう。)
4. その他、予診で予防接種を行うことが不適当な状態と判断された場合。

### 表2. 予防接種を受けるに際し注意する人（要注意者）

1. 心臓、腎臓、肝臓、呼吸器や血液などの**慢性の病気**がある人。  
(症状が強いときは避けて、軽快期に医師と相談して行う。)
2. **前回の予防接種**で、2日以内に高熱がでた人や全身性の発疹などアレルギー症状が見られた人。(前回のインフルエンザ予防接種後の状況が参考となります。)
3. 過去に**けいれん**を起こした人。  
(**てんかん**など**けいれん**を起こす病気の場合は担当医と相談する。)
4. 過去に**免疫不全**と診断された人。近親者に先天性免疫不全症の方がいる人。
5. 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器疾患を有する人。
6. ワクチンの成分または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アレルギーを呈するおそれのある人。

### 表3. 予防接種を受けた後の注意

1. 予防接種による異常反応はないか様子を見る。  
(予防接種を受けた後、先ずその場所で観察すること。その後も検温などで様子を見て、高熱などの異常があったら、医師に相談する。一般にこの接種による副反応(副作用)は少なく軽微です。**主な副反応**として、「**接種部位の発赤、はれ、痛み**」が見られることがあるが、ふつう2～3日で消失する。)
2. 接種当日は激しい運動を避ける。  
(予防接種は人工的に病原体を感染させることなので、当日は過激な運動を避け、なるべく**安静**にする。)
3. 接種当日の入浴は可能です。  
(皮膚の接種部位をこすらず、清潔を保ち、もし発熱したら入浴をやめる。)

出版健康保険組合

健康管理センター 健康管理課

電話 03-3292-5091 (ダイヤルイン)